

iStorage NS500Rf、iStorage NS500Rg
Intel Chipset Device Software 10.1.2.19
インストールレーションガイド

目次

1.	はじめに	3
1.1	対象装置	3
1.2	対象 OS	3
1.3	対象バージョン	3
1.4	商標	3
2.	アップデート作業の流れ	4
3.	事前準備	5
3.1	事前準備の流れ	5
3.2	チップセットドライバのバージョン確認	6
3.3	モジュールの準備	7
3.4	CLUSTERPRO 関連のサービス停止	7
4.	チップセットドライバのアップデート	8
4.1	チップセットドライバのインストール	8
4.2	アップデート後の確認方法	9
5.	事後処理	10
5.1	事後処理の流れ	10
5.2	CLUSTERPRO 関連のサービス開始	10
6.	注意事項	11
6.1	リモートデスクトップによる操作	11
6.2	操作時のアカウントについて	11
6.3	Starter Pack 適用後について	11

1. はじめに

本インストールガイドはチップセットドライバのアップデート手順について説明します。本書に記載の手順を守り、アップデートを実施してください。

1.1 対象装置

iStorage NS500Rf
iStorage NS500Rg

1.2 対象 OS

対象となる OS は以下の通りです。

省略形式	対象 OS の製品
Windows Storage Server 2012 R2	Microsoft® Windows Storage Server® 2012 R2 Standard

※Server Core は対象外

1.3 対象バージョン

アップデート対象となるチップセットドライバのバージョンは以下の通りとなります。

チップセットドライバ名	対象装置	対象バージョン
Intel(R) C610 series/X99 chipset	iStorage NS500Rf	9.4.2.1014
USB Enhanced Host Controller	iStorage NS500Rg	10.1.2.10

1.4 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Intel® Chipset Device Software は、合衆国内とその他の各国の Intel Corporation および/または従属的な企業の商標です。

CLUSTERPRO® X は日本電気株式会社の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

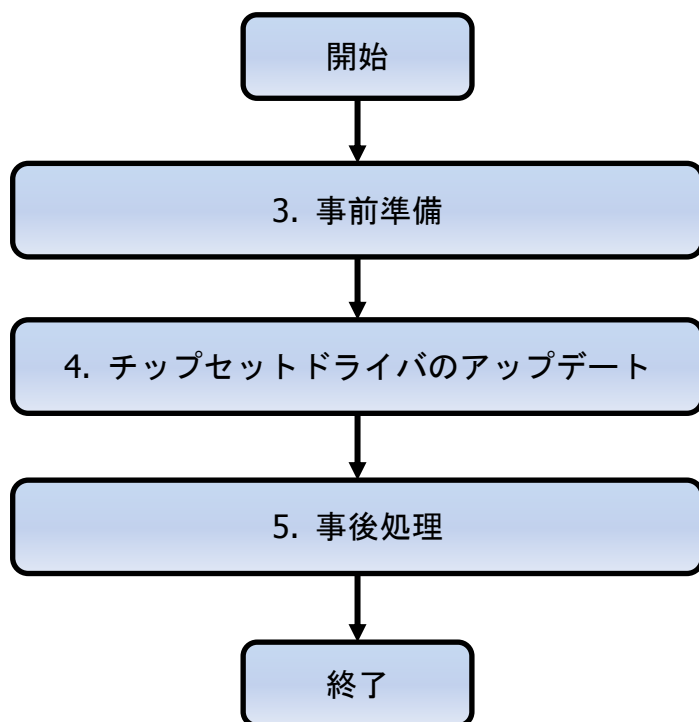
なお、本文では TM,R マークを明記していません。

2. アップデート作業の流れ

本章ではチップセットドライバーをアップデートする際の流れについて説明します。以下の図を参照し、チップセットドライバーをアップデートしてください。



本手順書は、CLUSTERPRO を使用していることを想定した手順となっております。CLUSTERPRO を使用していないシステムの場合は、CLUSTERPRO 関連の手順（3.4 項,5.2 項）を飛ばして実施していただけますようお願い致します。



3. 事前準備

本章では、チップセットドライバーをアップデートする前に必要な作業について説明します。



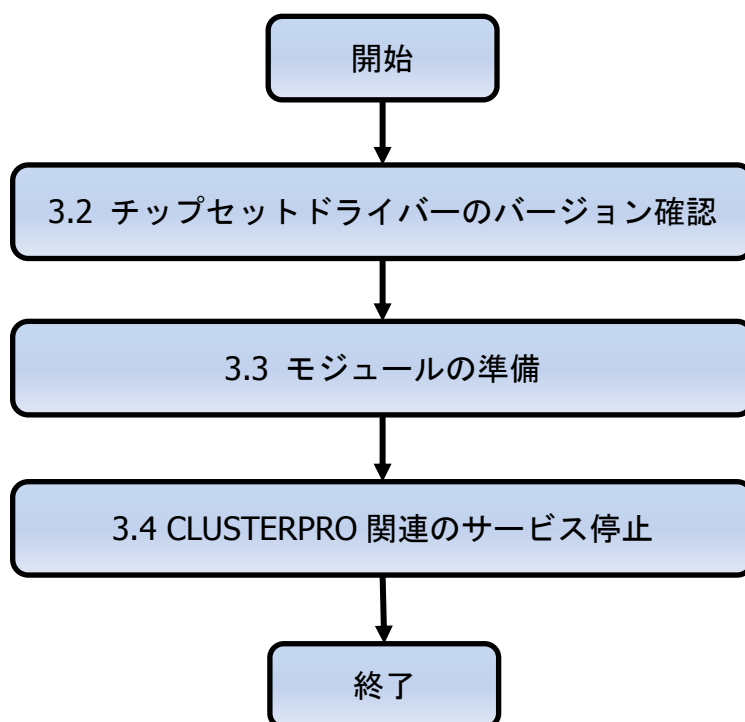
以下の作業はローカルコンソールから管理者権限(Administrator など)でログインして実施してください。OSのリモートデスクトップ機能を使用する作業はサポートしていません。

CLUSTERPRO を使用していない環境で Hyper-V をご使用の場合は、チップセットドライバーのアップデートを実施する前にすべてのゲストOSをシャットダウンおよび自動起動の設定を解除してください。

本作業を行う際は必ず他のウィンドウ等を閉じてから行ってください。

本手順を実行しても解決しない場合は別の問題が発生している可能性があります。解決しない場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

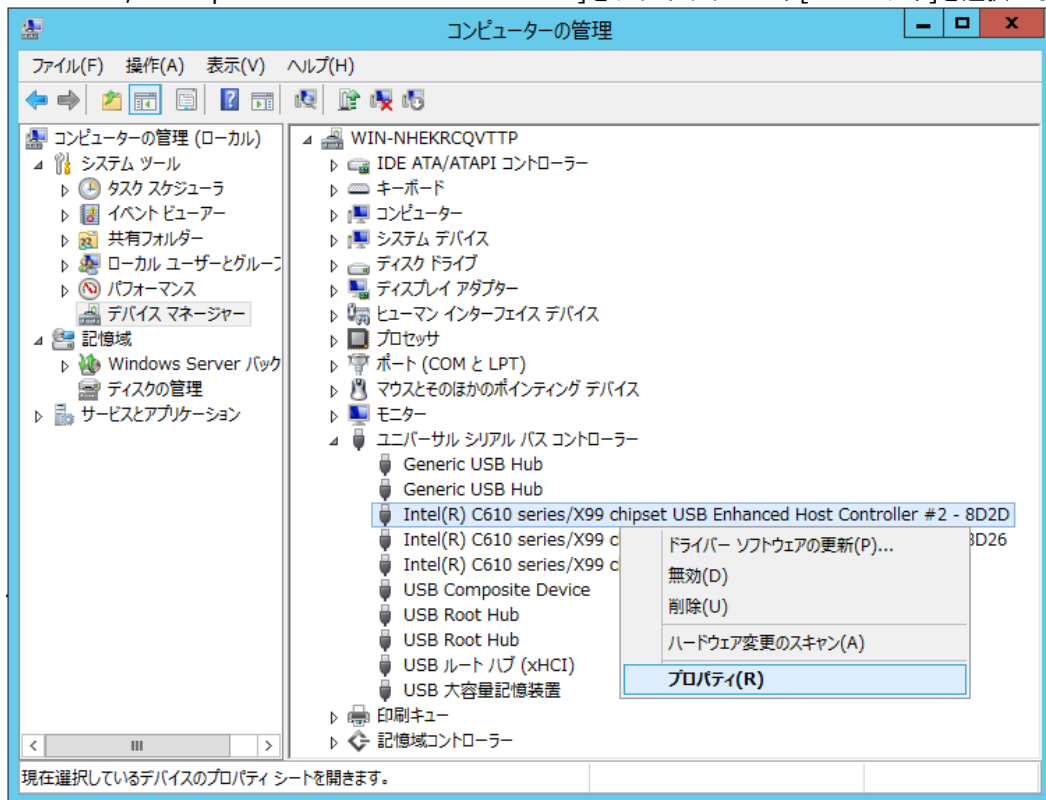
3.1 事前準備の流れ



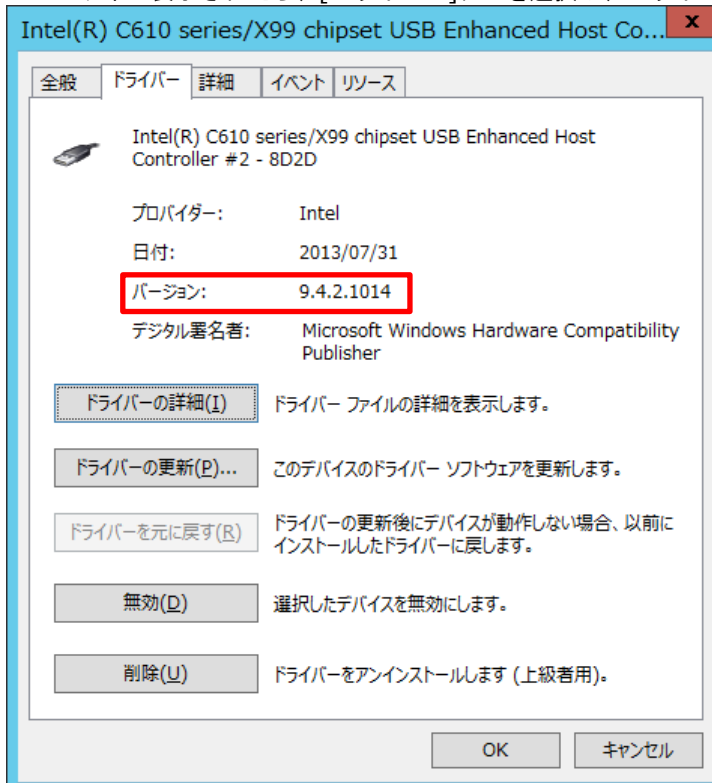
3.2 チップセットドライバーのバージョン確認

本項では、チップセットドライバーのバージョン確認方法について説明します。以下の手順を参照し、チップセットドライバーのバージョンを確認してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動し、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]から、[Intel(R) C610 series/X99 chipset USB Enhanced Host Controller]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



2. プロパティが表示されたら、[ドライバー]タブを選択し、ドライバーのバージョンを確認します。



対象装置	ドライバーバージョン
iStorage NS500Rf	9.4.2.1019
iStorage NS500Rg	10.1.2.10

3.3 モジュールの準備

本項では、チップセットドライバのアップデート用モジュールと巻き戻し用モジュールの準備について説明します。以下の手順を参照し、アップデート用モジュールを準備してください。

1. Express5800 シリーズ サポート情報サイトから「GVO-015646-G02_XXXXXXXXXXXXXXXXX.zip (x は不定の数字となります。)」をダウンロードしてください。
2. システムドライブ配下に「Temp」フォルダを作成し、「1.」でダウンロードしたファイルを「Temp」フォルダに展開してください。

3.4 CLUSTERPRO 関連のサービス停止

本項では、CLUSTERPRO 関連のサービス停止手順について説明します。以下の CLUSTERPRO のマニュアルを参照し、CLUSTERPRO 関連のサービスを停止してください。

<http://jpn.nec.com/clusterpro/clp/manual.html>

⇒ ご使用のバージョンの CLUSTERPRO のマニュアルを選択
⇒ リファレンスガイド
⇒ 第 10 章 保守情報

※シャットダウン完了後にシステムを起動して 4 項へ進んでください。

4. チップセットドライバーのアップデート

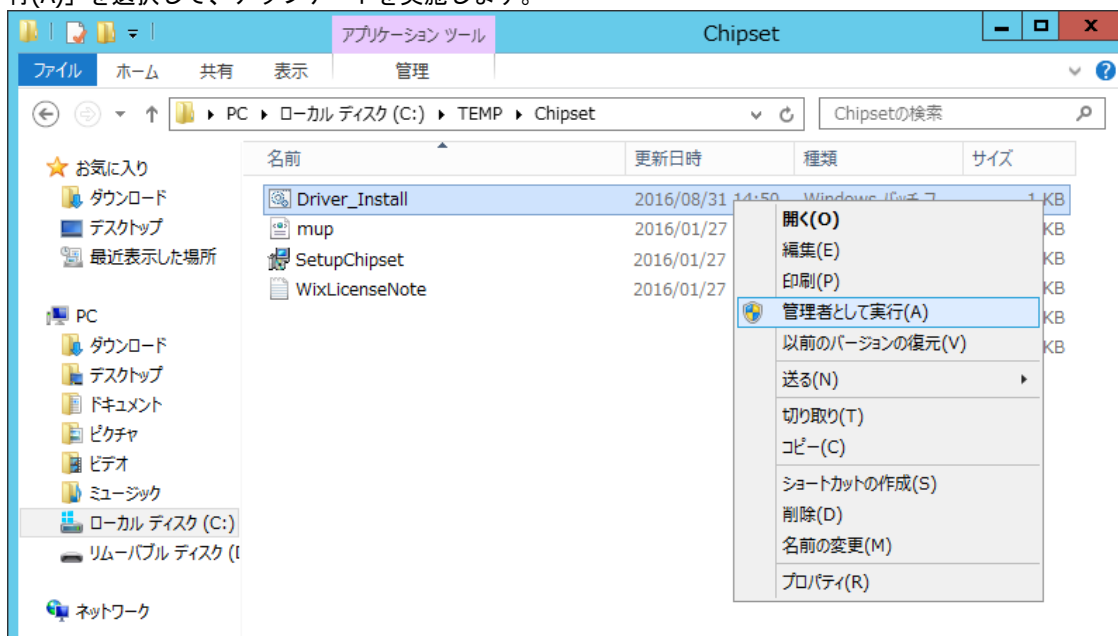
本章では、チップセットドライバーのアップデート方法について説明します。



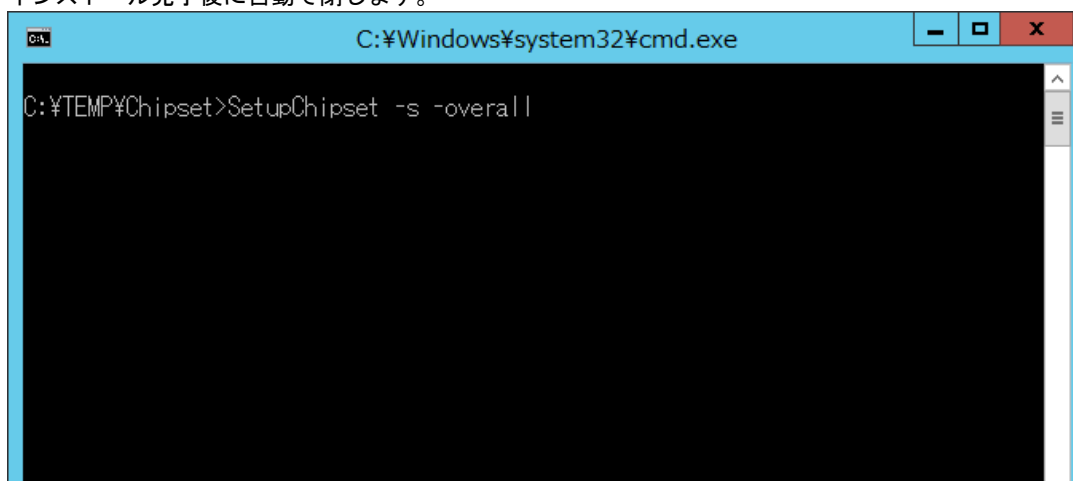
以下の作業はローカルコンソールから管理者権限 (Administrator など) でログオンして実施してください。OS のリモートデスクトップ機能を使用しての作業はサポートしていません。

4.1 チップセットドライバーのインストール

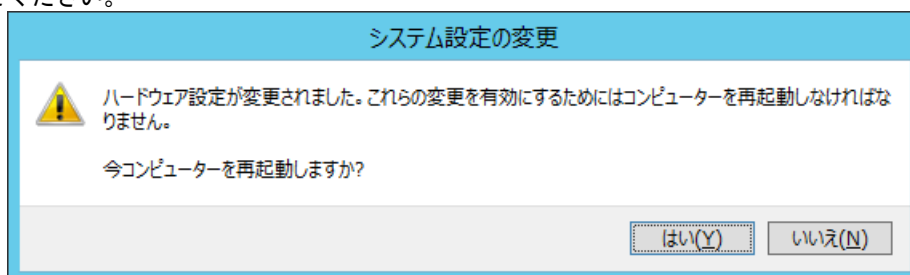
1. 管理者権限 (Administrator など) のあるユーザでログオンします。
2. 事前準備(3.3 項)で任意にコピーしたファイル内にある[Driver_Install.bat]を右クリックし、「管理者として実行(A)」を選択して、アップデートを実施します。



3. 下図のウィンドウが開きますので、しばらくお待ちください。
インストール完了後に自動で閉じます。

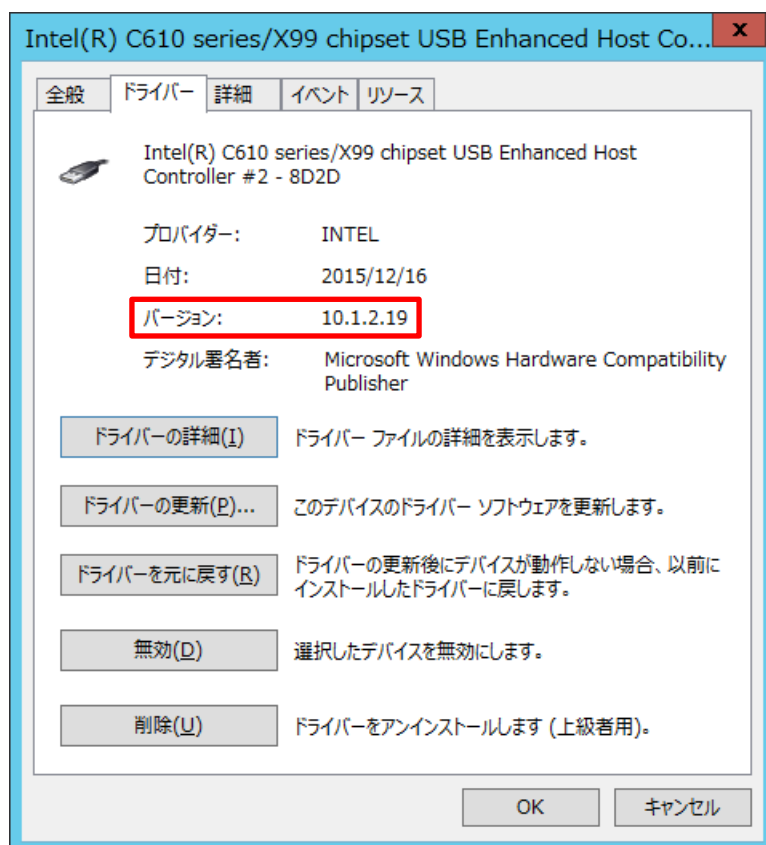


4. アップデート完了後、システムの再起動を促すメッセージが表示されれば、指示に従ってシステムを再起動してください。メッセージが表示されない場合は、画面左下の『スタート』よりシステムの再起動を実行してください。



4.2 アップデート後の確認方法

3.2 項のドライバーのバージョン確認の手順でチップセットのプロパティを開き、チップセットドライバーのバージョンが「10.1.2.19」に変更されたことを確認してください。正常にアップデートされていれば、アップデート作業は完了です。

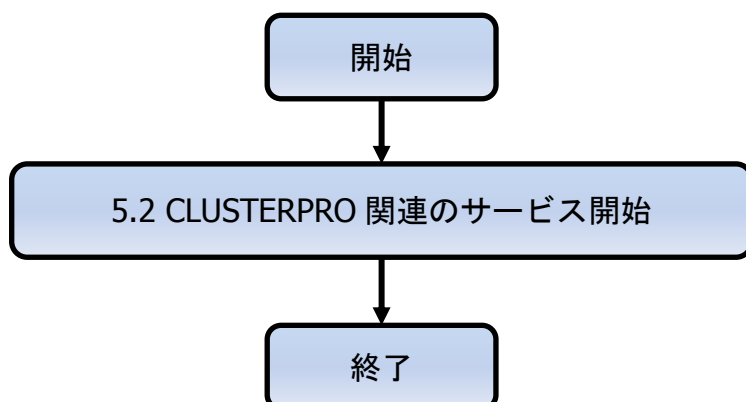


5. 事後処理



以下の作業はローカルコンソールから管理者権限(Administrator など)でログインして実施してください。OS のリモートデスクトップ機能を使用する作業はサポートしていません。
CLUSTERPRO を使用していない環境で Hyper-V をご使用の場合は、チップセットドライバのアップデートを実施する前にすべてのゲスト OS をシャットダウンおよび自動起動の設定を解除してください。

5.1 事後処理の流れ



5.2 CLUSTERPRO 関連のサービス開始

本項では、CLUSTERPRO 関連のサービス開始手順について説明します。以下の CLUSTERPRO のマニュアルを参照し、CLUSTERPRO 関連のサービスを開始してください。

<http://jpn.nec.com/clusterpro/clp/manual.html>

- ⇒ ご使用のバージョンの CLUSTERPRO のマニュアルを選択
- ⇒ リファレンスガイド
- ⇒ 第 10 章 保守情報

6. 注意事項

本章では、チップセットドライバーのアップデートに関する注意事項を記載しています。

6.1 リモートデスクトップによる操作

本書に記載されている全ての操作は、必ず本体装置に接続したコンソールから実施してください。
OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用した操作は、サポートしていません。

6.2 操作時のアカウントについて

本書に記載されている全ての操作を行う際は、必ず管理者権限のアカウントでログオンまたは、サインインして実施してください。
また、コマンドプロンプトは必ず管理者として起動してください。

6.3 Starter Pack 適用後について

本書の手順に従い、チップセットドライバーをアップデートした後に EXPRESSBUILDER の Starter Pack を適用した場合、チップセットドライバーのバージョンが元に戻る場合があります。本書の手順に従い、再度チップセットドライバーのアップデートをお願いします。